

むらさきそう

西東京市立田無第一中学校
校長 辻 康一

(住所) 西東京市南町6-9-37

(電話) 042-462-2811



URL <https://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi1/>

3学期は「まとめ」の時期

新年あけましておめでとうございます。いよいよ2026年がスタートしました。そして、学校では今年度のまとめの時期として3学期が始まりました。今回は、この「まとめ」についてのお話です。

「まとめる」とはバラバラになっていたいくつかのものを集めて一つにするということです。そう考えると、3学期は1学期や2学期に学んだり経験したりしたことを集めて一つにしていく学期であると言えます。一つにするということは、ただ入れ物を準備して、そこに一緒に入れるという意味もありますが、みなさんに挑戦してほしいのは、バラバラだったものを組み合わせて新しいものを作り出すということです。

私の好きな映画に『アポロ13』というものがあります。今から30年ぐらい前の映画なのですが、月面調査に向かったアメリカの宇宙船が、月を目前にして爆発事故のトラブルを起こし、絶体絶命の危機から地球に生還するという実話をもとに作られた映画です。爆発により母船の酸素タンクや燃料電池が破壊された3人の乗組員たちは、月に到達するのをあきらめ、非常手段として月着陸船に移動し、地球へ帰ろうとします。地球の管制センターも、着陸船の強度や大気圏突入の角度、軌道を計算し、無事に宇宙飛行士を無事に帰すために、たくさんの人々が力を合わせます。そうして、なんとか地球へ帰れるという見通しが立った時に、また新たなトラブルが発生します。もともとが2人乗りだった着陸船では、3人分の二酸化炭素を機械で吸収することができなくなってしまいました。そこで、宇宙飛行士たちはアポロ13号に積み込んだいろいろなものをテーブルの上にぶちまけ、ガラクタを組み合わせる新しいフィルターをつなぐためのカートリッジを作り上げました。そして、その後もたくさんの困難を乗り越えて、全員無事に地球に帰ってくることができました。

これは、一つひとつのものではつなぐことはできなかったけれど、それらを組み合わせることで新しいものを生み出した例です。このように、まとめるということには、これまで学んだり経験したりしたことを組み合わせることで、新しいものを作り出す役割があります。もちろん、それはいつでもできるのでしょうが、1学期・2学期と積み重ねてきたものがたくさんある3学期が、その学年の中で新たな一歩を踏み出すチャンスでもあるように思います。

実は、チームでコミュニケーションを取りながら、一人では生み出せないようなよりよいアイデアを創り出す力は、ロボットやAIが苦手な分野です。逆に言えば、AIが浸透している社会で人間に必要とされる力でもあります。どうかみなさんも「まとめる」という言葉をつかうときには、単に一つにしたり要約したりするだけでなく、そこから何か新しいものを生み出すイメージをもってほしいと思います。

【音楽部】 クリスマスコンサート (12月13日、18日、22日)

音楽部は、12月13日(土)にイオンモール東久留米で、18日(木)・22日(月)に校内でクリスマスコンサートを行いました。イオンモールでは6曲、クリスマスコンサートでは10曲、クリスマスの定番ソングや合唱曲などを披露しました。一中の生徒や先生方、保護者の方やイオンモールにお出かけに来た方々など、聴きに来てくださった方々に心温まる歌を届けることができました。また、感動で涙を流していただいた地域の方もいらっしゃいました。本当にたくさんのあたたかい言葉やエールをいただき、皆さまの支えをととも感じる本番となりました。

本番後にはミーティングにて反省点や改善点を出し合いました。次の本番に向けてさらに成長していく姿が楽しみです。

個人情報保護のため、配布された紙面とは内容一部異なります。
ご了承ください。

【IJ学級】 多摩特研 マラソン大会 (12月18日)

12月18日(木)、国営昭和記念公園にて多摩特研マラソン大会が開催されました。大会に向けて約1ヶ月間、朝練習や授業で持久走に取り組むなど、練習に励んできました。練習を重ねるごとに走れる距離が伸びたり、タイムが縮んだりと生徒たちの頑張りが成果として表れていることを実感しました。

当日は、天気にも恵まれ、マラソン日和の中、大会に臨むことができました。走る前は、緊張していたり、自分の目標を達成できるか不安だったり、ワクワクしていたりと、様々な感情を抱いていたようでしたが、練習の成果を発揮し、全員が最後まで走り切ることができました。なかには、自己新記録を達成した生徒、レースの中で優秀な成績を収め、賞状をいただいた生徒もいました。この大会を通して学んだ、最後までやり切ることの大切さを今後の学校生活に生かしてほしいと思います。



美化活動 (12月24日)

2学期末の終業式の前日に、全校で大掃除を行い、教室や廊下を丁寧に清掃しました。生徒たちは、日頃使用している机やイス、テレビ、教卓などを廊下に移動させて、教室の床が見渡せるようにしてから取り組みました。普段なかなか手を出せない窓や窓のさんなど隅々まで心を込めて清掃しました。

全員での清掃後、整備委員会の生徒が、床にワックスをかけました。整備委員会の生徒は、毎週黒板クリーナーの清掃や机・ロッカー点検など、学校の美化に欠かせない存在であり、教職員一同、感謝の気持ちで一杯です。

最終学期である3学期を気持ち良く迎えることができました。今の教室とはあと数ヶ月の付き合いとなりますが、清潔に過ごしていけるように、日々の清掃から取り組みます。

三者面談 (12月1日～12月5日)

先月実施した三者面談では、ご多用の中、多くの保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。また、日頃より学校教育へのご理解ご支援を賜り、この場を借りてではございますが、重ねてお礼申し上げます。

三者面談では、学校での生活の様子や学習への取り組み、進路に対する思いなどを共有し、生徒一人一人の成長を改めて感じると共に、保護者の方々ともお話することができました。面談でうかがったお話は、今後の指導に生かしてまいります。

学校と家庭が連携しながら、生徒が安心して前向きに学校生活を送れるよう、引き続きご理解とご支援していきたいと考えています。